

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第184号（5. 2. 2） 教育長に対して謝罪を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>平成23年9月21日の文教経済委員会において、当時の教育長は文書があったら謝罪すると答弁しているが、文書が見つかって2年以上になるがいまだ謝罪がないため、直ちに元教育長は謝罪すること。万一、退職等を理由に謝罪を拒むのであれば、歴代教育長の答弁を前例踏襲してきた現在の教育長が代わって謝罪すること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>兵庫県伊丹市 学校事故事件被害者遺族の会代表 新上五島町いじめ自死第三者委員会委員 西尾 裕美</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

2023年2月2日

神戸市会議長様

(陳情者)

伊丹市

学校事故事件 被害者遺族の会 代表

新上五島町いじめ自死第三者委員会委員

西尾 裕美

(電話

)

## 「文書があったら謝罪する！」と啖呵を切った

## 永井（元）教育長に対して、謝罪を求める陳情

## 陳情趣旨

平成23年（2011年）9月21日、文教経済委員会において、永井教育長は役者さながらの答弁をしています。「書類が普通はあるんです。それが無いということは、（中略）その理由がわからないし、文書も残ってないんで（中略）私もこれ本当にはっきり答えたいんです。もしあるのであれば謝罪もせないかんとします。」

令和4年6月から3か月かけて行われた監理室の調査からも、文書が存在したことが判明しました。しかし、いまだ教育長の謝罪はありません。

教育長という組織のトップが議会という公式の場で、文書があったら謝罪すると啖呵を切ったのです。潔く頭を下げてはいかがでしょうか。

この永井教育長の答弁に対して、長田教育長をトップとする今の教育委員会は呆れています。永井氏は具体的な文書を特定しておらず、監理室が調査した文書とは限らないと強弁しています。それは詭弁だと断言できます。

令和2年11月18日、「平成18年2月に認知した神戸市立小学校の金銭授受等事案におけるいじめの有無等を調査する委員会」が発足しています。その時、教育委員会は段ボール4箱分（推定約5千枚）の文書を調査委員会に提出しています。これだけ隠されてきた大量の文書が見つかっていながら、永井教育長の答弁に該当する文書は特定できないといのは、詭弁以外の何ものでもありません。

直ちに、元教育長 永井氏に謝罪を求めます。万一、退職等を理由に謝罪を拒むのであれば、歴代教育長の答弁を前例踏襲としてきた長田教育長が代わって謝罪することを求めます。

なお、当陳情は、監理室の調査や当方の調査等から判明した事実に基づき行なっています。「平成 18 年 2 月に認知した神戸市立小学校の金銭授受等事案におけるいじめの有無及びその対応を調査する委員会」の調査とは関係ありません。よって、調査委員会の最終報告がでるまで答弁を控えたいなどと言って、答弁を回避することのないよう申し添えます。

#### 陳情事項

平成 23 年（2011 年）9 月 21 日、文教経済委員会において、永井教育長は文書があったら謝罪すると答弁している。文書が見つかって 2 年以上になるが、いまだ謝罪はない。よって、直ちに元教育長 永井氏に謝罪を求める。

万一、退職等を理由に謝罪を拒むのであれば、歴代教育長の答弁を前例踏襲としてきた長田教育長が代わって謝罪することを求める。

以 上